

セラミックデータブック1981～1989年版の総目次

昭和56年～平成元年発行分

■ 特別寄稿

序文	(東京工業大学学長)	齋藤進六	1981年版	p.1
《座談会》ファインセラミックスの研究開発／次世代産業基盤技術等を含めて	〈司会〉	奥田進	"	p.17
	岩田誠二・中山淳・副島繁雄・栗田学	柳田博明		
製品開発におけるPPMの応用	(日本電気)	植之原道行	"	p.28
民生機器用エレクトロセラミックスの現状と今後の課題	(ソニー)	大越明男・西垣進	"	p.35
序にかえて／セラミックスの研究開発のあり方		齋藤進六	1982年版	p.1
次世代産業基盤技術と化学技術の役割／新材料とバイオテクノロジー	(帝人)	内田盛也	"	p.35
電子産業におけるセラミックスの応用展開	(松下電器産業)	飯田義男	"	p.42
生体材料としてのセラミックスへの期待／人工骨の開発	(京都大学医学部)	山室隆夫	"	p.50
《座談会》セラミックスに対する期待にどう応えるべきか	〈司会〉	柳田博明	"	p.55
	福長脩・新木信夫・尾野幹也	石渡宏		
セラミックス研究における国際協力のあり方		齋藤進六	1983年版	p.27
セラミックスのデータバンク構想	(化学技術研究所)	小野修一郎	"	p.31
	(東京大学)	柳田博明		
提言：In Situ Processing	(長岡技術科学大学学長)	齋藤進六	1984年版	p.27
ファインセラミックス(特にエン・セラ)の研究開発に対する提言	(東京大学)	柳田博明	"	p.29
小特集〈学協会と国際交流〉				
① 窯業協会の立場から	(窯業協会企画委員長)	境野照雄	"	p.34
② ファインセラミックス協会の立場から	(無機材質研究所)	福長脩	"	p.37
世界における日本の電子セラミック技術の位置づけ	(防衛大学)	岡崎清	"	p.40
ファインセラミックスの研究開発の現状と展望	(名古屋工業技術試験所)	奥田博	"	p.45
セラミックプロセッシング開発の思い出	(長岡技術科学大学学長)	齋藤進六	1985年版	p.19
セラミックスにおける材料設計のあり方	(東京大学)	柳田博明	"	p.23
セメント工業の現状と今後の課題	(三菱鉱業セメント)	尾野幹也	"	p.27
計測技術の進歩とファインセラミックス	(長岡技術科学大学学長)	齋藤進六	1986年版	p.19
新素材開発と産業構造変化	(東京大学)	柳田博明	"	p.25
ファインセラミックス産業の振興施策	(通商産業省)	足立芳寛	"	p.27
セラミックス新素材の開発	(無機材質研究所)	後藤優	"	p.36
ファインセラミックスの長・短期市場予測	(第一証券経済研究所)	山本秀行	"	p.42
	(日本長期信用銀行)	木村栄宏		
超電導とセラミックス／国際協力をいかにすべきか	(長岡技術科学大学学長)	齋藤進六	1987年版	p.15
ファインセラミックスセンターの目指すもの	(財)ファインセラミックスセンター理事長)	森田正俊	"	p.17
創造科学技術推進制度の超微粒子プロジェクト	(日本真空技術)	林主税	"	p.20
大韓民国におけるセラミック研究開発の現状	(ソウル大学名誉教授)	林應極	"	p.22
〈対談〉セラミックス超電導体はどうか		齋藤進六	1988年版	p.15
	(東芝総合研究所)	荻原宏康		
セラミックスの回顧と展望／土器から超伝導まで	(金沢工業大学経営科学研究所長)	城阪俊吉	"	p.25
“インテリジェント・マテリアル”とはどの様なものか	(東京大学)	柳田博明	"	p.39

デバイスから見たインテリジェント・マテリアル……………(東京工業大学)	高橋 清	”	p.42
ファインセラミックスと特許……………(特許庁)	岡田 萬里	”	p.46
材料連合フォーラム／その活動のフィロソフィー……………(帝人)	内田 盛也	”	p.51
材料科学への素粒子論からのアプローチ／付・素粒子(基礎)ノート……………	齋藤 進六	1989年版	p.11
〈座談会〉大学における材料科学教育のありかた……………(司会)	柳田 博明	”	p.22
	牧島 亮男・長谷川正木・福長 脩・平野 真一		
知的所有権とこれからの日本／第3次産業革命における新国際秩序形成への貢献……………(帝人)	内田 盛也	”	p.33
ガスタービン計画……………(勸日本自動車研究所)	石渡 正治	”	p.40

■ 基礎科学

セラミックス強度の理論と実際……………(旭硝子)	中山 淳・阿部 弘	1985年版	p.35
固体電解質の設計……………(東京工業大学)	水谷 惟恭・石澤 伸夫	”	p.42
セラミックスの分析・評価技術の最近の進歩……………(東レリサーチ)	高橋 正夫	”	p.57
ポーラスセラミックスとその応用……………(早稲田大学)	一ノ瀬 昇	”	p.65
固体混合への統計的接近……………(玉川大学)	新藤 久和・赤尾 洋二	”	p.74
形の科学とセラミックス……………(筑波大学)	小川 泰	1986年版	p.55
破壊原因データを用いた多重モードワイブル分布のパラメータ推定精度の向上……………(東工大)	松尾陽太郎	”	p.62
セラミックスプロセスにおけるポアー……………(慶応義塾大学)	山口 喬	”	p.69
HIPと焼結……………(大阪大学産業科学研究所)	小泉 光恵・宮本 欽生	”	p.78
セラミックスの導電機構解明の現状(粒界も含めて)……………(九州工業大学)	桑原 誠	1987年版	p.31
非晶質体の構造解析／EXAFSおよびXANES法……………(金沢大学理学部)	奥野 正幸	”	p.40
	(電子技術総合研究所) 大柳 宏之		
セラミックスの破壊機構と亀裂伝播抵抗性……………(豊橋技術科学大学)	逆井 基次	”	p.48
超微粒子／ガス中蒸発法による超微粒子の生成……………(真空冶金)	賀集誠一郎	”	p.58
超格子セラミックス……………(京都大学化学研究所)	坂東 尚周	1988年版	p.59
銅含有酸化物の構造化学……………(無機材質研究所)	小野田みつ子	”	p.65
スクリーン印刷とインキのレオロジー……………(千葉大学)	渡辺綱一郎・甘利 武司	”	p.75
傾斜機能材料／熱応力緩和を中心に……………(東北大学金属材料研究所)	平井 敏雄・佐々木 眞	1989年版	p.51
絶縁破壊と機械破壊との相関・類似性について……………(東京大学生産技術研究所)	岸本 昭	”	p.56
	(東京大学先端科学技術研究センター) 柳田 博明		
変調構造(Modulated Structure) の解析……………(無機材質研究所)	山本 昭二	”	p.63
気相薄膜合成におけるプラズマ診断……………(電子技術総合研究所)	田中 一宜	”	p.70
ZrO ₂ の表面準安定相……………(豊田中央研究所)	長谷川英雄	”	p.76
電子セラミックスにおける組成変動……………(千葉大学)	掛川 一幸	”	p.82
窒化アルミニウムの熱伝導率はどこまで向上するか……………(東京工業大学)	篠崎 和夫・水谷 惟恭	”	p.88

■ 資源・原料・添加剤

水素エネルギーとセラミックス……………(化学技術研究所)	小野修一郎	1981年版	p.55
希土類金属資源の現状と将来展望……………(東海大学)	金子 秀夫	”	p.60
海水溶存成分の採取……………(専売公社)	尾方 昇	”	p.67
	(動力炉核燃料開発事業団) 林 昇一郎		
膨潤性フッ素雲母系鉱物について……………(信州大学)	大門 信利	”	p.73
	(大竹碍子) 井澤登一郎		
新しい無機顔料……………(利根産業)	風間 孝夫	”	p.81
希土類資源とその分離・精製……………(三菱化成工業)	荒川鐵太郎・重信多三夫	1982年版	p.71
GGG及びLN……………(住友金属鉱山)	末綱 愛里・有野 靖三	”	p.80
日本の石灰石資源……………(資源コンサルタント)	河田 茂磨	”	p.93
C ₁ 化学と触媒技術……………(京都大学)	乾 智行	1983年版	p.39
小特集 〈興味あるこれからの原料〉			
① ベリリア……………(神戸大学)	鈴木 弘茂	”	p.49

	(無機材質研究所)	進藤 勇		
② リチウム/核融合炉燃料トリチウムの生産と増殖	(日本原子力研究所)	工藤博司	"	p.55
③ セラミック原料としてのホウ素資源	(電気化学工業中央研究所)	石井正司	"	p.61
④ ジルコニア	(第一稀元素化学工業)	川田泰生	"	p.67
シリコン原料資源について	(山形大学)	大町北一郎	1984年版	p.53
酸化亜鉛	(無機材質研究所)	白崎信一	"	p.59
希少金属(レアメタル)とその資源	(新金属協会)	黒田和夫	1985年版	p.87
小特集 <エンジニアリングセラミックス用合成原料>				
① 炭化ケイ素	(昭和電工)	木村嘉孝	"	p.94
② 窒化ケイ素	(電気化学工業)	倉成洋三・西村春樹・丹治宏彰・石井正司	"	p.101
③ ジルコニア	(東レ)	吉田文男・松田良夫	"	p.107
酸化チタン系導電粉末	(三菱金属)	吉住素彦	"	p.112
ホウ素を含む無機化合物(BN, B ₄ C, LaB ₆)とその応用	(電気化学工業)	萩原宏俊・丹治宏彰・玉木昭平	1986年版	p.85
セラミックコンデンサ用原料	(共立窯業原料)	近田昇	"	p.94
ファインセラミックス原料としての有機金属ポリマー	(東北大学金属材料研究所)	岡村清人	1987年版	p.77
アルミナ原料の開発動向	(住友金属鉱山中央研究所)	山田興一・古林俊樹	"	p.91
特許にみる金属アルコキシドの利用状況	(成蹊大学)	尾崎義治	1988年版	p.83
超微粒子の開発と利用	(住友セメント)	田中弘文	"	p.89
自動車用摩擦材におけるアスベスト代替繊維の開発	(日清紡績)	神崎福	"	p.97
勝負する発想/海水マグネシア開発の歴史と回顧	(クレーバン技術研究所)	太田千里	1989年版	p.97
セラミックスの原料ロット/アルミナを例として	(日本科学技術連盟)	青木茂雄	"	p.111

■ 測定・評価技術

X線粉末図形の精密解析と物性	(東京工業大学)	丸茂文幸	1981年版	p.113
超音波顕微鏡によるセラミックスの非破壊試験	(東北大学)	中鉢憲賢・新妻弘明	"	p.118
セラミックスにおける固体反応	(慶応義塾大学)	山口 喬	1982年版	p.123
高分解電子顕微鏡によるセラミックスの粒界の研究	(無機材質研究所)	守吉佑介・三友護	"	p.131
セラミックのトライボロジー	(機械技術研究所)	津谷裕子・榎本祐嗣・山中一司	"	p.138
セラミック融体の超急冷効果	(東京農工大学)	鈴木健之	"	p.149
ガラスの構造決定法	(東京大学)	長谷川洋・安井至	"	p.155
水を多量に含むガラスの諸性質	(長岡技術科学大学)	高田雅介	"	p.164
	(レンスレーア工科大学)	友沢 稔		
セラミックスの海外研究事情(1)				
J. Steffan Instituteを見学し、第5回国際焼結円卓会議に出席して	(東京工業大学)	宗宮重行	"	p.171
セラミックスの表面分析/現状と問題点	(豊田中央研究所)	颯田耕三	1983年版	p.101
アルミナセラミックス中の不純物の品質への影響	(日本特殊陶業)	福浦雄飛・浅野幸泰	"	p.116
イメージアナライザーによる耐火物物性の測定	(播磨耐火煉瓦)	片田 中	"	p.123
	(新日本製鐵)	山中広明・田村信一		
セラミックスの粒界・界面のキャラクタリゼーション	(大阪大学)	延谷宏治・金丸文一	1984年版	p.95
構造用セラミックスの評価技術	(豊田中央研究所)	上垣外修己	"	p.105
構造用セラミックスの強度評価とワイブル統計	(東京工業大学)	松尾陽太郎	1985年版	p.161
人工知能応用分析システム	(富士ファコム)	荒井崇明・木場一輔・松岡成典・鈴木久	"	p.170
超音波によるセラミックスの評価	(東京大学)	岸 輝雄	1986年版	p.135
摩擦特性・耐摩耗性の評価/セラミックスに関連して	(機械技術研究所)	榎本祐嗣・山中一司	"	p.147
超電導セラミックスへの取り組み方	(東北大学金属材料研究所)	小林典男・渡辺和雄・武藤芳雄	1988年版	p.135
破壊じん性測定法の開発	(東芝タンガロイ)	貞廣孟史	"	p.141
セラミックス中のガス分析	(東京理科大学)	古谷圭一	"	p.147
	(堀場製作所)	伴 弘一		
遠赤外線と放射セラミックス	(財団法人セラミックスセンター)	栗田 学	"	p.157

ファインセラミックスの標準化の現状……………(旭硝子) 奥宮正太郎・内野哲也 1989年版 p.153

■ 研究～生産技術・機器装置

宇宙材料実験用超高温炉開発の現状……………(東京工業大学) 澤岡 昭 1981年版 p.125 (宇宙開発事業団) 神谷純生	
焼成炉におけるエクセルギー解析……………(東京大学) 山内 繁 ” p.132	
水熱反応による無機結晶材料の合成……………(名古屋大学) 平野真一 1982年版 p.185	
遷移金属炭化物の単結晶育成技術とその評価……………(無機材質研究所) 大谷茂樹・石沢芳夫 ” p.191	
セラミックスの溶接について……………(大阪大学) 荒田吉明・大森 明 ” p.199	
コークス炉溶射補修機と補修技術……………(新日本製鐵) 杉田 清 ” p.209	
微粉末の湿式法による製造技術……………(京都大学) 木山雅雄 1983年版 p.137	
衝撃加圧プロセッシングの現状と将来……………(東京工業大学) 近藤建一・澤岡 昭 ” p.143	
窒化ケイ素セラミックスの粒界結晶化焼結……………(東芝総合研究所) 米屋勝利・柘植章彦 ” p.152	
セラミックスのレーザ加工技術……………(電子技術総合研究所) 安永暢男 ” p.156	
ファインセラミックスの泥しょう鑄込み成形……………(東陶機器) 渡辺信彦 1984年版 p.117	
セラミックスの射出成形装置……………(日本製鋼所) 荒木田豊 ” p.123	
セラミックスの放電加工……………(井上ジャパックス研究所) 井上 潔 ” p.132	
小特集〈大出カイオン・インプラテーション〉	
① イオン注入装置と改質材の二、三の例……………(理化学研究所) 岩木正哉 1985年版 p.191	
② 特殊大型加速器を用いた材料開発／イオン注入を中心として ……………(長岡技術科学大学) 八井 淨・升方勝己 ” p.196	
セラミックスのMEEC加工……………(応用磁気研究所) 黒松彰雄 ” p.203	
セラミックスの固相接合……………(大阪大学) 岡本 平・菅沼克昭 ” p.214	
無重力状態における材料製造……………(宇宙開発事業団) 荒 卓哉 1986年版 p.173	
高圧の液体による分離・除去加工／ウォータージェット加工と側圧切断 ……………(富山職業訓練短期大学) 今中 治 ” p.181	
大型超硬度セラミックス用研削盤の試作と研削加工……………(無機材質研究所) 山岡信夫・赤石 実 ” p.189 ・増田安次・小倉好次・福長 脩	
単分散セラミック微粒子……………(東京工業大学) 加藤誠軌・水谷惟恭 1987年版 p.133 (住友金属鉱山) 御手洗征明	
高周波熱プラズマの発生とセラミック合成への応用……………(無機材研) 石垣隆正・松本精一郎・守吉佑介 ” p.138 (住友金属鉱山中央研究所) 二木昌次	
サイズコントロール用空気分級機の進歩……………(日清エンジニアリング) 安口正之 ” p.144	
イオン注入によるセラミックスの改質……………(豊田中央研究所) 野田正治・日置辰視・上垣外修己 1988年版 p.175	
セラミックスの塑性加工……………(京都工芸繊維大学) 西川友三 ” p.182	
有機バインダーの材料設計序論……………(長岡技術科学大学) 三山 創・藤本輝雄・植松敬三 ” p.187	
いろいろな材料を使った部品造形技術……………(東芝総合研究所) 森田幹郎 ” p.193	
CIP成形の数値シミュレーション……………(神戸製鋼機械研究所) 中川知和 1989年版 p.165	
セラミックスのマイクロ波焼結・接合……………(豊田中央研究所) 松居正夫 ” p.170	
セラミックスの超塑性現象とプロセッシングへの応用……………(名古屋工業技術試験所) 若井史博 ” p.175	
セラミックスの電気接合……………(大阪工業技術試験所) 小見山 亨 ” p.181	
セラミックスのレーザー切断……………(三菱電機生産技術研究所) 大峰 恩 ” p.185	
有機金属化合物を用いた鋼板への酸化物被膜コーティング……………(大阪府立大学) 南 努・峠 登 ” p.189	
アルミニウムの陽極酸化皮膜の高機能性利用……………(日軽技研) 海老原 健 ” p.193	

■ 耐火物・断熱材

高炉種の乾式振動成形方法(SUP法)……………(品川白煉瓦) 木村守弘・戸田増実・森 正志 1981年版 p.163	
最近の塩基性耐火物……………(播磨耐火煉瓦) 石橋種三・松村龍雄 ” p.170	
高温断熱材とその応用……………(イソライト工業) 和波達夫 ” p.181	
耐火物産業はどうなるか……………(耐火物技術協会) 石渡 宏 1982年版 p.251	

マグネシア・カーボンレンガの最近の進歩……………(品川白煉瓦)吉野成雄・国米博之・西尾英昭	”	p.259
高炉に使用される炭化ケイ素耐火物……………(カーボランダム) Roy W. Brown	”	p.266
	(東京高級炉材) 田上嘉秋	
小特集〈溶銑予備処理用耐火物〉		
① 溶銑予備処理技術の動向と耐火物……………(神戸製鋼所) 成田貴一	1983年版	p.189
② 混銑車用炉材の変遷……………(品川白煉瓦) 林武志・京田洋	”	p.199
③ インジェクションランス用耐火物……………(日本プライブリコ) 江上煌	”	p.205
小特集〈二次精錬用耐火物〉		
① 二次精錬法と耐火物……………(川崎製鉄) 三枝誠・森本忠志	”	p.210
② 取鍋, タンディッシュに使用されているポーラス耐火物……………(アイコー) 三浦友勝・伊藤嘉二	”	p.219
③ とりペライニングの進歩……………(九州耐火煉瓦) 西川泰男	”	p.225
セメントレスキャストブル……………(黒崎窯業) 藤本章一郎	”	p.229
鱗状黒鉛及びその耐火物の特性……………(播磨耐火煉瓦) 滑石直幸・石橋種三	”	p.375
耐火物技術の将来動向/鉄鋼用に関する一概説……………(品川白煉瓦) 島田信郎	1984年版	p.165
小特集〈転炉・電炉炉材〉		
① 複合吹錬転炉の発展と耐火物……………(川崎製鉄) 森本忠志	”	p.169
② 転炉ライニングの溶射補修技術……………(新日本製鐵) 平櫛敬資・堀尾竹弘・松尾正孝	”	p.176
③ 電気炉用炉材の技術的変遷……………(大阪窯業耐火煉瓦) 小田中真一郎	”	p.181
小特集〈連鑄炉材〉		
① 連続鑄造技術の動向と耐火物……………(日本鋼管) 田中駿一	”	p.186
② スライディングノズルの技術的発展……………(黒崎窯業) 成瀬庸一	”	p.191
③ アルミナ・カーボンノズルの進歩……………(東京窯業) 中村俊夫	”	p.195
④ クリーンスチールと石灰耐火物……………(播磨耐火煉瓦) 滑石直幸・石橋種三・横山洋一・片田中	”	p.200
二次精錬技術と耐火物……………(播磨耐火煉瓦) 滑石直幸・石橋種三・宇都重俊	1985年版	p.259
最近の連続鑄造用耐火物……………(東芝セラミックス) 沖和男・荒川和三・長島秀夫・相庭吉郎	”	p.265
セメント用耐火物の動向……………(美濃窯業) 種村文数・本多徹	”	p.275
耐火物の評価方法/物理的な側面から……………(川崎炉材技術研究所) 川上辰男	”	p.282
連続鑄造用耐火物の新展開/連続鑄造におけるガスパーージシステム……………(東芝セラミックス) 沖和男・荒川和三・相庭吉郎	1986年版	p.233
溶銑予備処理技術と耐火物……………(品川白煉瓦) 門野敦郎	”	p.243
取鍋精錬用耐火物の最近の進歩……………(黒崎窯業) 片瀬伝治・平櫛敬資・鹿野弘	”	p.250
	・多喜田一郎・上出希安・横溝丈二	
リフラクトリーファイバー……………(東芝モノフラックス) 伊藤明	”	p.263
電子工業部品焼成用道具材……………(東芝セラミックス) 紀本礼一郎・長島秀夫	”	p.271
耐火物原料の最近の動向/中国の新しい原料を中心に……………(ヨータイ) 小田中真一郎	1987年版	p.175
操業中の耐火物観測評価技術の発展……………(新日本製鐵) 桐生幸雄・八百井英雄・成田暢彦	”	p.181
不定形耐火物の施工機械の進歩……………(播磨耐火煉瓦) 永井敏	”	p.188
ガラス用耐火物の動向……………(旭硝子) 熊倉重博	”	p.199
炉補修法としての溶射技術の進歩……………(新日本製鐵) 松尾正孝	1988年版	p.223
電気炉用耐火物の現状と今後の展開……………(黒崎窯業) 八木琢夫・森幹男・上出希安	”	p.229
焼却炉用耐火物の動向……………(品川白煉瓦) 田畑勝弘・原子尚行・西原健	”	p.236
非鉄金属の製錬と耐火物の動向……………(ヨータイ) 小田中真一郎	”	p.242
低熱膨張セラミックス……………(東京工業大学) 井川博行	”	p.249
含炭素耐火物……………(名古屋工業大学) 山口明良	1989年版	p.225
マグネシア・カーボン質耐火物……………(九州耐火煉瓦) 渡辺明	”	p.231
ドロマイト・カーボン質耐火物……………(川崎炉材) 石井宏昌・土屋一郎・小口征男・川上辰男	”	p.237
連続鑄造用アルミナ・カーボン質耐火物……………(黒崎窯業) 木村温良・平岩義隆・飯塚祥治	”	p.240
アルミナ・シリコンカーバイド・カーボン質耐火物……………(品川白煉瓦) 京田洋・藤原禎一	”	p.247

■ ファインセラミックス

固溶体形成による材料設計	(東京大学) 河本 邦仁・柳田 博明	1981年版	p.321
固体電解質の開発と最近の進歩	(鳥取大学) 岩原 弘育	"	p.328
太陽熱集熱器とガラス系材料	(日本板硝子) 新木 信夫・渡辺 浩司・山田 哲也	"	p.335
赤外線伝送路材料	(古河電気工業) 大沢 和哉	"	p.346
導電性アモルファス材料	(大阪府立大学) 南 努	"	p.353
EFG法による単結晶引上げ技術	(京都セラミック) 浜野 義光	"	p.363
セラミック薄膜の製法とその応用	(村田製作所) 脇野 喜久男	"	p.369
最近の超硬質セラミック工具	(無機材質研究所) 福長 脩	"	p.380
核融合原子炉とセラミック材料の問題点	(東京工業大学) 鈴木 弘茂	1982年版	p.355
高温下で使われるセラミックセンサ	(日本特殊陶業) 福浦 雄飛・坂野 久夫・牛田 由郎・山田 哲正	"	p.365
高熱伝導・電気絶縁性SiCセラミックスとその応用	(日立製作所) 浦 満	"	p.374
赤外線放射用セラミックス	(名古屋工業技術試験所) 高嶋 廣夫	"	p.381
セラミックファイバーの光応用技術	(日本板硝子) 新木 信夫・西澤 紘一	"	p.388
炭化ケイ素繊維の開発と期待される用途	(日本カーボン) 田中 淳一	"	p.402
オキシナイトライドガラスの作成と性質	(無機材質研究所) 牧島 亮男	1983年版	p.313
板ガラス製品の新しい動向	(セントラル硝子) 三嶋 康玄	"	p.319
電子工業におけるガラス	(日本電気硝子) 和田 正道	"	p.328
第3世代ガラス繊維への道	(千葉工業大学) 清水 紀夫	"	p.334
無機高分子について/日本, アメリカおよびカナダの現状	(名古屋大学) 梶原 鳴雪	"	p.349
圧電セラミックス/その歴史と今後の展望	(村田製作所) 藤川 永生・南井 喜一・脇野 喜久男	"	p.356
BL型コンデンサ	(太陽誘電) 山岡 信立	"	p.364
ダイヤモンド状薄膜の形成	(東京農工大学) 難波 義捷	"	p.370
小特集 <研削・研磨材のレビュー>			
① 一般砥粒/研磨材・人造研削材など	(光陽社) 遠藤 幸雄	"	p.383
② 超砥粒	(無機材質研究所) 福長 脩	"	p.390
磁気記録媒体の研究動向	(TDK) 今岡 保郎・泉 俊明	1984年版	p.281
焦電材料の研究開発動向	(東芝) 一ノ瀬 昇	"	p.287
マイクロ波誘電体の技術動向	(松下電器産業) 大内 宏	"	p.293
プロトン導電性固体とその応用の可能性	(鳥取大学) 岩原 弘育	"	p.302
リン酸カルシウム系バイオセラミックス	(三菱鉱業セメント) 尾野 幹也	"	p.308
ゾルゲル法によるガラスの製造	(旭硝子) 鈴木 由郎	"	p.314
ポーラスガラス	(大阪工業技術試験所) 江口 清久	"	p.321
新しいフッ化物ガラスとその性質	(古河電気工業) 大澤 和哉	"	p.326
セラミックス加工とダイヤモンド	(旭ダイヤモンド工業) 見義 一兄	"	p.332
炭素繊維の技術開発と世界戦略	(東レ) 芦田 恵一・青谷 寛	"	p.338
C/Cコンポジットとその応用	(東京工業大学) 木村 脩七・安田 栄一	"	p.346
シート磁石の現状と今後の展望	(富士電気化学) 鳥居 道寛・奥田 正直・吉野 正	"	p.351
高温熱交換装置と高温材料	(黒崎窯業) 藤本章一郎・八田 篤明	1985年版	p.359
光ファイバー開発の背景	(無機材質研究所) 牧島 亮男	"	p.367
高イオン導電性ガラス	(大阪府立大学) 南 努	"	p.373
低温焼結多層セラミック基板	(日本電気基礎研究所) 内海 和明・高見澤秀男	"	p.382
圧電セラミックス・アクチュエータとその応用	(日本電気基礎研究所) 高橋 貞行	"	p.390
高熱伝導性AlNセラミックス	(東芝総合研究所) 柘植 章彦・安齋 和雄 ・篠崎 和夫・高橋 孝・岩瀬 暢男	"	p.396
透光性AlNセラミックス	(徳山曹達藤沢研究所) 倉元 信行・谷口 人文	"	p.401
サイアロンセラミックの研究動向	(無機材質研究所) 三友 護	"	p.406
SiC, Si ₃ N ₄ whiskerの特性とその応用	(タテホ化学) 庭野 一久・湊 哲則・田中 稔	"	p.413
FRMの現状と将来	(金属材料研究所) 渡辺 治	"	p.422

立方晶窒化ホウ素の合成と応用	(無機材質研究所)	福長 脩	"	p.431
ファインセラミックスの標準化について	(ファインセラミックスセンター)	奥田 博	1986年版	p.341
インターカレーションとその応用	(大阪大学産業科学研究所)	浅井 彪・河合七雄	"	p.348
センサ材料としてのセラミックスの特質	(早稲田大学)	一ノ瀬 昇	"	p.355
自動車とセラミックセンサ	(日産自動車)	木村信司・浜中隆夫・田口道一	"	p.364
高周波用パワーフェライト	(TDK)	野村武史・守田 章・奥谷克伸	"	p.376
BL構造を有するセラミックバリスタ	(太陽誘電)	山岡信立	"	p.383
人工関節について	(東京工業大学)	布村成具	"	p.391
ZrB ₂ 基サーメットの開発	(旭硝子)	沓掛行徳	"	p.397
繊維補強セラミックス	(大阪工業技術試験所)	速水諒三	"	p.403
BN研究の現状	(電気化学工業)	丹治宏彰・西川 洋	1987年版	p.255
ファインセラミックスとしてのムライト	(神奈川大学)	浜野健也	"	p.262
ZrO ₂ 含有高靱性結晶化ガラス	(愛知工業大学)	野上正行	"	p.272
高性能 α -サイアロンセラミックス	(無機材質研究所)	三友 護	"	p.278
	(品川白煉瓦)	鮎沢信夫		
ファインセラミックスの鉄鋼への適用	(新日本製鐵)	池田順一	"	p.282
半導体製造プロセス用セラミックス	(東芝セラミックス)	松尾秀逸・吉田博幸・長島秀夫	"	p.287
精密構造部材としてのファインセラミックス/精密機器への応用	(東陶機器)	豊田万三・水兼正博	"	p.294
IC基板はどうなるか	(日立製作所中央研究所)	戸田堯三	"	p.301
積層技術とエレクトロニクスセラミックス	(日本電気基礎研究所)	米沢正智	"	p.310
Cu配線ガラス-セラミックス系多層回路基板	(富士通厚木研究所)	丹羽絃一	"	p.319
赤外放射セラミックスとその応用	(旭硝子)	川口将徳	"	p.323
圧電コンポジット材料(PZT/有機複合)	(日本特殊陶業)	坂野久夫・角岡 勉	"	p.328
単粒ダイヤモンドによるセラミックス表面の亀裂生成	(東京工業大学)	吉川昌範	"	p.338
ダイヤモンド焼結体による切削・研削工具	(東芝タンガロイ)	上原一仁	"	p.346
大型陶板の製法について	(信楽窯業試験場)	西尾千秋	"	p.399
陶磁器用顔料	(横浜国立大学)	大塚 淳	"	p.403
自動車と構造用セラミックス	(豊田中央研究所)	上垣外修己	1988年版	p.299
磁気記録用セラミックス/磁気記録用媒体および磁気ヘッドに用いる材料	(松下電器産業)	三小田真彬	"	p.306
セラミックアクチュエータ/最近の応用動向	(上智大学)	内野研二	"	p.315
りん酸カルシウム系セメントと生体材料への応用	(無機材質研究所)	門間英毅	"	p.321
小特集 <ファインセラミックスの新しい応用>				
① 耐熱衝撃性セラミックス	(東北大学)	島田昌彦・佐藤次雄	"	p.326
② 超耐食性セラミックス	(埼玉大学)	三田村 孝	"	p.331
③ セラミックキャピラリー	(京セラ)	塩見忠義	"	p.336
④ 超薄型圧電セラミックシート	(村田製作所)	井上二郎・勝部正嘉・脇野喜久男	"	p.340
機能性ガラスの開発現況/トピックスの集点	(東京大学)	牧島亮男	"	p.344
ニューダイヤモンドの研究動向	(東京工業大学)	福長 脩	"	p.349
無機系レジスト材料	(日立製作所中央研究所)	石川 晃	1989年版	p.295
	(東京大学生産技術研究所)	工藤 徹一		
新IC基板材料のメタライズ技術	(日立製作所日立研究所)	荻原 覚・岡村久宣・栗原保敏	"	p.302
セラミック赤外線センサの現状と課題	(村田製作所)	伊藤 聡・村田充弘	"	p.311
最近の自動車用O ₂ センサ	(日本電装)	黄木正美	"	p.318
最近の高温用構造材料	(豊田中央研究所)	上垣外修己	"	p.324
超伝導セラミックスの線材化及び厚膜化	(富士通研究所)	丹羽絃一	"	p.331
医用生体材料としてのアパタイトとその応用	(住友セメント)	高木茂栄	"	p.339
人工歯冠用セラミックスの現状	(名古屋工業技術試験所)	阿部良弘	"	p.348
	(九州耐火煉瓦)	渡辺 明・木原誠治		
X線検出用Gd ₂ O ₂ Sセラミックス	(日立製作所中央研究所)	伊藤由喜男・竹内裕之	"	p.352
ゾル・ゲル法による高純度石英ガラス	(セイコーエプソン)	土岐元幸	"	p.356

光分解法による機能性ガラスの作製	(東京工業大学)	山根正之	"	p.360
	(無機材質研究所)	井上悟		
ガラス/シリコンの陽極接合	(三菱電機材料研究所)	深田哲生・大野克弘	"	p.364
ニューダイヤモンド技術と科学の展望	(東京工業大学)	福長脩	"	p.370

■ セメント・コンクリート

小特集〈最近のセメント化学の進歩/バリ・シンポジウム〉

① 概説	(小野田セメント)	竹本国博	1981年版	p.283
② クリンカー	(名古屋工業大学)	牧 巖	"	p.288
③ セメントの水和	(日本大学)	露木尚光	"	p.292
④ 特殊セメントについて	(電気化学工業)	中川晃次	"	p.297
石油地熱開発における泥水	(東京大学)	田中彰一	"	p.273
セメントペースト/骨材の反応と境界微細構造	(秩父セメント)	須藤儀一	"	p.302
SECコンクリート技術とその応用	(東京大学)	樋口芳郎	"	p.309
	(東京理科大学)	辻 正哲		

小特集〈ファインケミカルズとしての土質安定材〉

① 無機土質安定材とその開発動向	(三菱鉱業セメント)	吉良欣一	1982年版	p.431
② 陸上における地盤改良工法の現状	(小野田セメント)	下田正雄	"	p.438
③ 海底における工法の現状/深層混合処理工法	(竹中工務店技術研究所)	新名昭土	"	p.451

セメント化学における結晶学的進歩/ポルトランドセメント中のシリケート相

	(三菱鉱業セメント)	永嶋正久	1983年版	p.339
世界に通用するセメント及びコンクリートの研究	(小野田セメント)	河野俊夫	1984年版	p.356
繊維補強コンクリートの現状と展望	(東京大学生産技術研究所)	小林一輔	1985年版	p.438
コンクリートにおけるアルカリ・シリカ反応	(金沢大学)	川村満紀	1986年版	p.409
第8回セメント化学国際会議	(東京工業大学)	後藤誠史	1987年版	p.409
セメント産業の需給動向	(セメント協会)	高崎泰行	"	p.414
超高耐久性コンクリートの開発	(竹中工務店) 佐久田昌治・斎藤俊夫・柳橋邦生		1988年版	p.401
	(藤沢薬品工業) 田中恭一・杉山 雅			
最近の地盤改良固化材	(京都大学)	嘉門雅史	"	p.408
韓国のセメント産業	(仁荷大学校)	韓 基成	"	p.412
セメントの水和制御の化学	(日本大学)	露木尚光	1989年版	p.425
セメント製造技術の現状	(大阪セメント)	清水忠義	"	p.431
超高強度セメントコンクリート	(電気化学工業) 養 巖・坂井悦郎		"	p.439
液体窒素を用いたコンクリートのプレクーリング工法	(清水建設) 小野 定・根上義昭・木村克彦		"	p.445
	(東京ガス) 後藤貞雄			
	(東京冷熱) 大下研一			